

平成 23 年 4 月 5 日

会員各位

社団法人 日本病院薬剤師会
災 害 対 策 本 部

被災地の現状とボランティア応募のお願い

東日本大震災とそれに続く大津波による被害、福島第一原子力発電所の炉心溶融などにより、いまだに多くの被災者が困難な状況におかれています。被災地の医療現場は最大限の対応を行っておりますが、薬剤師の数が足りず深刻な状況となっております。

本会では、3月17日（金）付けで本会のホームページで被災地の医療活動に従事する薬剤師ボランティアを募集し、現在（4月5日13時）までに118名の方から応募があり、派遣先と活動開始の日程調整が済んだ方から順次、被災地へ派遣しております。被災地のためにボランティアに応募していただきました皆様に御礼申し上げます。

被災地のライフライン及び公共交通機関の復旧が遅れていることから、現時点では食糧及び宿泊を自己で十分な準備ができ、自家用車またはレンタカーにより自力で移動を行うことができるボランティアを被災地に派遣しております。現場では薬剤師の職務の重要性からできる限り移動日を含め1週間程度の活動が求められております。

薬剤師ボランティアによる医療活動支援は長期間実施することを予定しており、早ければ4月中に東北新幹線の復旧が見込まれていることから、派遣先の状況も異なってくるものと存じますが、現時点でのボランティア派遣は上記の様な状況となっております。

最後に、ボランティアを完了された薬剤師、被災地及びその周辺の医療機関に従事する薬剤師は、現状を都道府県病院薬剤師会及び本会にお寄せ下さいますようお願いいたします。